

# がん医療フォーラム2023

活用しよう! 相談と支え合いの場



2023年11月26日(日)

13時30分~16時30分

よみうり大手町小ホール

東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞ビル

## PROGRAM プログラム

開会挨拶 辻 哲夫 公益財団法人 正力厚生会 理事長

### 第1部 基調講演

講演1 **がん患者さんをご家族を支える  
地域づくりに向けて**

渡邊 清高氏 帝京大学医学部内科学講座腫瘍内科 病院教授

講演2 **あなたのそばに、がん相談とがん情報**

高山 智子氏 静岡社会健康医学大学院大学教授、  
前国立がん研究センターがん対策研究所部長

講演3 **医療記者、そしてがん当事者として**

山口 博弥氏 読売新聞東京本社編集委員

—— 休憩:15分 ——

### 第2部 パネルディスカッション

モデレーター:

渡邊 清高氏 帝京大学医学部内科学講座腫瘍内科 病院教授

鈴木 雄一氏 読売新聞東京本社医療部長

パネリスト:

高山 智子氏 静岡社会健康医学大学院大学教授、  
前国立がん研究センターがん対策研究所部長

山口 博弥氏 読売新聞東京本社編集委員

橋本 久美子氏 聖路加国際病院がん相談支援センター相談員

村上 利枝氏 認定がん医療ネットワークシニアナビゲーター

村本 高史氏 サッポロビール人事部プランニング・ディレクター

轟 浩美氏 認定NPO法人希望の会理事長

閉会挨拶 竜 崇正 正力厚生会 専門委員長  
(元千葉県がんセンター長)

主催:公益財団法人正力厚生会  
協力:地域におけるがん患者の緩和ケアと療養支援情報 普及と活用プロジェクト  
後援:厚生労働省、国立研究開発法人国立がん研究センター、公益財団法人がん研究会、  
一般社団法人日本がんサポーターシップケア学会、読売新聞社

## ごあいさつ



公益財団法人正力厚生会  
理事長 辻 哲夫

がんになっても担当医以外に頼り先がなく、生活面を含めて孤独と不安にさいなまれるがん患者さんご家族は、まだまだ多いのが実状です。今年度スタートした国の第4期がん対策推進基本計画でも、相談支援や情報提供の充実を図ることが、目標の一つに掲げられました。

がんと付き合いながら日常生活を送るためには、患者ご本人ご家族、そして社会全体が、きちんとがんのことを知ることが大切です。情報はあふれていますが、信頼できる情報と相談先は、どうしたら得られるのでしょうか。

このたびの「がん医療フォーラム2023」のテーマは、「活用しよう! 相談と支え合いの場」としました。本日は病院、企業、患者団体などで、正しいがん情報の普及や相談支援に尽力されてきた方々にご登壇いただきます。最新の情報提供・相談支援の現場のご紹介と共に、そのさらなる充実に向けたご提案とご議論をいただきますのでご期待ください。

## 公益財団法人正力厚生会とは

正力厚生会は、読売新聞東京本社の寄付金などをもとに、がん患者とご家族の支援を目的とした事業を続けてきました。主に以下のような事業を行っています。

### 〔がん患者団体への助成〕

全国のがん患者団体・支援団体による講演会、相談会、患者サロンの開催やホームページ構築、パンフレット作成といった事業に、最大50万円を助成します。2007年度からこれまでに、延べ417団体が助成対象となりました。応募・選考については当会ホームページをご覧ください(2024年度事業の応募は締め切りました)。

### 〔医療機関への助成〕

国立がん研究センターの「がん情報ギフト」プロジェクトに資金助成しています。公共図書館へがん情報の冊子セットを贈り、正しいがん情報普及の窓口となってもらう事業で、目標の全国500館以上への寄贈実現などに寄与しました。このほか、▼がん患者が地域で安心して暮らせる社会を目指す「(略称)がんの在宅療養支援プロジェクト」(帝京大学、国立がん研究センター、がん研有明病院、東京大学死生学応用倫理センターの共同プロジェクト)、▼がん研有明病院データベース作成、▼東京大学医学部附属病院との共催シンポジウム——などを支援してきました。

### 〔読響ハートフルコンサート〕

2007年度からQOL(生活の質)向上の助成の一環として、国内屈指のオーケストラ・読売日本交響楽団による弦楽四重奏団を全国のがん診療連携拠点病院などに派遣し、病院コンサートを開いています。質の高い音楽の贈り物は、患者やご家族、医療従事者の皆様から大変好評で、これまでに延べ95か所以上の病院で開催しました(2024年度開催分の応募は締め切りました)。

正力厚生会 公式サイト  
<https://shourikikouseikai.or.jp/>



## 読売新聞の 医療報道

長期連載「医療ルネサンス」は、1992年から掲載8000回を超す「医療の読売」の看板企画。最新の治療法などをはじめ、正力厚生会助成がん患者団体の活動も紹介しています。月1回、全国の病院の治療実績を調査するのが「病院の実力」。ウェブでは、これらを含む医療・介護・健康情報を「ヨミドクター」サイトで広く提供しています。

**渡邊 清高氏**(わたなべ きよたか)

帝京大学 医学部内科学講座 腫瘍内科 病院教授

帝京大学医学部内科学講座腫瘍内科病院教授(腫瘍内科・がん情報)。1996年東京大学医学部卒。医学博士。東京大学消化器内科、国立がん研究センターがん対策情報センターを経て2014年より現職。地域におけるがん患者の緩和ケアと療養支援情報普及と活用プロジェクトリーダーとして、がんに関する信頼できる情報発信と、現場に応じたその普及に取り組んでいる。がん患者が安心して自宅で過ごすための情報をまとめた冊子「在宅療養ガイド」の改訂版を作成中。

在宅療養ガイドの全文も読める上記プロジェクトのサイト  
「がんの在宅療養」は、こちらをご覧ください  
<https://plaza.umin.ac.jp/homecare/>

**高山 智子氏**(たかやま ともこ)

静岡社会健康医学大学院大学教授、前国立がん研究センターがん対策研究所部長

2002年保健学博士。岡山大学医学部保健学科(地域看護学)を経て、2006年より国立がん研究センターがん対策情報センター。立ち上げ当初から国内最大のがんの情報サイト「がん情報サービス」の企画・編集および相談員研修会企画運営に携わる。2023年4月より現職。厚生労働省科学研究費補助金がん政策研究事業「がん相談支援の質の確保及び持続可能な体制の構築に資する研究」の研究代表者として、がん相談支援センターや相談員が活躍しやすい環境整備に取り組む。一般社団法人日本がん相談研究会・代表理事。

**山口 博弥氏**(やまぐち ひろや)

読売新聞東京本社編集委員

読売新聞東京本社編集委員室編集委員。1987年読売新聞東京本社入社。岐阜支局、社会部などを経て、1997年から医療情報室(現・医療部)。盛岡支局長、医療部長、解説部長などを経て、2019年9月より現職。読売新聞オンラインでコラム「なるほど!医療」を公開中。2020年秋、超高リスクの前立腺がんと診断され、2種類の放射線治療とホルモン療法を受ける。読売新聞の連載「医療ルネサンス」で体験記を2シリーズ掲載し、大きな反響を呼んだ。



モデレーター:

**鈴木 雄一氏**(すずき ゆういち)

読売新聞東京本社医療部長。1993年読売新聞東京本社入社、甲府支局記者等を経て、2015年政治部次長、2019年人事部次長、2020年編集局管理部長、2023年6月から現職。



**橋本 久美子氏**(はしもと くみこ)  
聖路加国際病院がん相談支援センター相談員

聖路加国際病院がん相談支援センター看護師。がんに関する無料の相談窓口で、院内外の専門家と連携しながら、仕事から子育て・介護、遺伝や妊娠・出産、お金と暮らし、周囲との関わり方まで、がん患者さんのあらゆる相談に応じられるよう努めている。仕事の傍ら産業カウンセラー資格を取得。主に就労支援やAYA世代のがんなどをテーマに、各地の自治体や医療機関などの講演会や研修会で講師を務めている。



**村上 利枝氏**(むらかみ としえ)  
認定がん医療ネットワークシニアナビゲーター

35歳で子宮頸がん、49歳で乳がんに罹患。地域、職場、友人らに支えられながら、子育てや介護と仕事の両立を図り、がんと共に生きてきた。2007年、東京都が拠点病院で始めたピアカウンセリングに誘われ、現在は神奈川県を中心に患者活動を続ける。日本癌治療学会認定シニアナビゲーターとして、「つなぐ」をキーワードに患者と医療関係者の仲立ち役も担う。相模原協同病院がん患者会「富貴草」世話人代表、神奈川県がん対策審議会委員などを務める。



**村本 高史氏**(むらもと たかし)  
サッポロビール人事部プランニング・ディレクター

1964年東京都生まれ。2009年に頸部食道がんを発症し、放射線治療で寛解。2011年、人事総務部長在任時に再発し、手術で喉頭全摘した。食道発声法を習得し、がん経験者の社内コミュニティ「Can Stars」の立上げ等、社内で治療と仕事の両立支援策を推進してきた。NPO法人日本がんサバイバーシップネットワーク副代表理事、厚生労働省がん診療連携拠点病院等の指定検討会構成員、厚生科学審議会がん登録部会臨時委員も務める。



**轟 浩美氏**(とどろき ひろみ)  
認定NPO法人希望の会理事長

スキルス胃がんで配偶者を亡くした遺族。全国胃がんキャラバン開催や患者向け胃癌治療ガイドライン作成に取り組むほか、誰もが生きやすい社会を願い、がん全体への啓発にも積極的に取り組んでいる。元厚生労働省がん対策推進協議会構成員。東京都がん対策推進協議会構成員、人生会議国民向け普及啓発事業検討会委員、患者向け胃癌治療ガイドライン作成委員。

